



三経塚 (東和)

綱木親和会館の東側にある山道を上っていくと、幾多の厳しい弾圧にも屈せず、キリストの教えを守り通した人々が処刑された切捨場霊場と遺体が葬られた塚があります。

天文18年(1549)、フランシスコ・ザビエル神父が日本に赴いて以来、キリスト教は国内に急速に広がり、東和町では製鉄業の発展とともに、その教えが人々に浸透していきました。

しかし、江戸幕府はキリスト教を異教とし、仙台藩でも元和6年(1620)からキリスト教への弾圧が始まりました。やがて、その弾圧の波はこの地方にまで及び、享保年間に伊達藩の役人によって信者たちは捕らえられ処刑されました。

【所在地】 登米市東和町米川字西綱木
【問い合わせ】 東和総合支所 地域生活課 ☎ 0220 (53) 4111

米川地区で処刑された遺体は、経文とともに3カ所に埋められたと伝えられています。写真は原形をとどめていた海無沢三経塚で、川石を積んだ直径6尺の塚の上には十字架が殉教者の霊をいたわるように立っています。

また、日本における最北の殉教地として、全国から巡礼の人々が訪れる貴重な観光資源ともなっています。

歴史博物館

広報ミニ展示室 33

＝ 疎開してきた芸術家たちとの交流 ＝

戦時中の登米市には、都市部から多くの疎開者がやってきました。その中で、現在の迫町森地区(当時は宝江村の一部)には、のちに世界的に活躍する芸術家たち



三三男がお礼に贈った肖像画

の姿がありました。日本舞踊家の花柳徳兵衛、洋画家の岡田謙三、高野三三男、挿絵画家の岩田専太郎、三三男の娘で後にピアニストとして活躍する高野耀子などです。いずれも大杉俊一という中心人物に導かれ、約1年滞在しました。その間、地域の人も交流を深め、岡田は過ごした村の風景を作品に描き、高野はお世話になった人の肖像画を残しています。また、大杉、岡田、高野らが戦火をかいくぐって持ち込んだピアノは、宝江村の各小学校に寄贈されました。

石越冬のまつり

【期 間】 1月14日(水)
【時 間】 古守札焚上祭(どんと祭) ☐午後4時～
花火大会 ☐午後7時～
【場 所】 石越総合運動公園特設会場

石越の花「あじさい」にちなんだ特注あじさい花火が澄みきった夜空を彩ります。
※天候不良の場合は、1月15日(木)に順延。
【問い合わせ】 石越冬のまつり奉賛会 (登米中央商工会石越町支所内)
☎ 0228 (34) 2064



佐沼どんと祭

【期 間】 1月14日(水)
【時 間】 裸参り ☐午後6時30分～
点 火 ☐午後7時～
【場 所】 羽黒神社、津島神社

当日の午後6時から8時までの間、一市・八日町通りは、車両の通行ができません。車でお越しの際は、登米合同庁舎駐車場をご利用ください。

【問い合わせ】 登米中央商工会 ☎ 0220 (22) 3681



モバイルとめ
<http://www.city.tome.miyagi.jp/m/>



登米市メール配信サービス登録
tome@entry.mail-dpt.jp (携帯用)